

令和7年度 指定管理者事業評価書

1 施設の概要

施設名	白石市白川公民館		
所在地	白石市白川津田字内堀6-1		
制度導入年月	平成17年4月	所管課	生涯学習課

2 指定管理者の概要

指定管理者	白川振興会議		
所在地	白石市白川津田字内堀6-1		
指定期間	令和5年4月～令和10年3月	年数	5年
選択方法	非公募	指定管理料	期間合計 27,489,230円
受託区分	更新		令和7年度 5,526,000円

3 利用実績

単位：人

施設利用者	R3	R4	R5	R6	R7
目標数	3,000	3,000	4,800	4,000	4,000
実績数	3,154	3,937	4,691	3,748	3,623

4 収支実績

単位：円

収入	予算	実績
指定管理料	5,509,000	5,526,000
利用料収入	59,000	190,129
その他の収入	0	619,454
合計	5,568,000	6,335,583
支出	予算	実績
人件費	4,113,257	4,470,512
事業費	295,000	754,768
事務費	1,159,743	1,110,303
合計	5,568,000	6,335,583
収支	0	0

5 指定管理者による自己評価

評価	白石市第六次総合計画に基づき、地域住民が積極的にイベントに参加し、連携していく姿を理想としたが、高齢化により例年通りの結果であった。小学校の再編により、消沈する空気の中、地球共創大学院大学による刺激がカンフル剤となり活気ある地域になるよう大学院大学設置支援室と共に検討できた。
今後の目標	「白川まちづくり宣言」の具現化に向け、青年層を巻き込み地域活性化に繋げるため、「公民館事業は高齢者」のイメージを払拭できるよう展開していきたい。

6 個別評価

評価項目及び評価基準		所管課 評価
1 住民の平等な利用が確保されるとともに、サービスの向上が図られるものであること。		
施設の管理運営方針について		B
平等な利用の確保とサービスの向上を図る具体的な取組みについて		B
他施設や市、地域との交流・連携について		A
施設利用者の要望や意見の把握及び対応について		B
2 公の施設の効用を最大限に発揮させるとともに、管理に係る経費の縮減が図られるものであること。		
施設の有効活用、利用者増への取組みについて		B
施設の効率的運営、経費縮減のための取組みについて		B
事業内容について		B
施設維持管理について		B
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力及び人的能力を有するものであること。		
安定的な運営が可能となる人的能力について		B
市への納付金支払額について		
施設管理の安全性（個人情報保護の取組みについてを含む）及び緊急時の対応について		B
収支計画の実現可能性について		B
団体の安定性、継続性について		B

【評価基準】

- A（優良） 計画書等を上回る優れた施設運営が行われた
- B（適正） 計画書等に沿った施設運営が行われた
- C（課題有） 概ね計画書等に沿った施設運営が行われたが課題がある
- D（要改善） 計画書等の水準に達しない施設運営であり、改善の必要がある

【市の総合評価】 B

評価コメント：施設の運営管理、職員の対応等のサービスについて、協定書、仕様書、事業計画に基づき適切に行われている。また、一大イベントである夏祭りで中高生ボランティアとの交流をはじめとした、参加者間交流が活発に行われたことは、「白川まちづくり宣言」の実現に向けた取組であると言える。積極的に若年層を巻き込み、事業改善している点が評価できる。

【指摘事項】